

報道関係各位 &lt;お知らせ&gt;

阪急阪神ホールディングス株式会社

環境と子どもたちの未来のため、従業員とともに沿線の市民団体を応援！

## 「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」第6回助成対象団体を決定しました

～今回を含めた6年間の助成の累計は、67団体・3,230万円になりました～

今般、阪急阪神ホールディングスは、昨年9月より募集・選考を進めてきた「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」市民団体助成プログラムの第6回助成対象団体を決定しました。今年度の応募総数は99団体で、その中から「地域環境づくり」と「次世代の育成」分野の課題に取り組む合計10団体に対し、総額600万円を助成します。助成対象団体に対しては助成金による支援のほか、広報協力等も行って活動を応援しています。



私たちは、未来へつなぐ  
「環境づくり」と「人づくり」に貢献します。

この助成プログラムは、グループ従業員の募金と当社の上乗せ寄付を原資として、沿線の市民団体に助成するもので、「未来にわたり住みたいまち」づくりに向けたグループ社会貢献活動「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」の一環として、2009年より実施しています。今回の助成分を含めて、過去6年間の助成の累計は67団体、3,230万円となりました。今後も市民団体の支援を通じて沿線地域の活性化に貢献できるよう、この助成プログラムを継続してまいります。

第6回助成対象団体および「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」市民団体助成プログラムの概要は、次のとおりです。

### ■第6回助成対象団体 10団体（部門・分野別50音順）

#### 【地域活性化部門】（※1）

- ①特定非営利活動法人 豊島北ビオトープクラブ（地域環境づくり・豊中市）
- ②長岡京竹あそび連絡協議会（地域環境づくり・長岡京市）
- ③ボランティアグループ「ゆりの会」（地域環境づくり・西宮市）
- ④特定非営利活動法人 豊かな森川海を育てる会（地域環境づくり・神戸市）
- ⑤大阪YWCA 点字子ども図書室（次世代の育成・吹田市）

#### 【社会事業活性化部門】（※2）

- ⑥特定非営利活動法人 こども環境活動支援協会（地域環境づくり・西宮市）
- ⑦認定特定非営利活動法人 大阪自然史センター（次世代の育成・大阪市）
- ⑧特定非営利活動法人 キンダーフィルムフェスト・きょうと（次世代の育成・京都市）
- ⑨特定非営利活動法人 チャイルド・リソース・センター（次世代の育成・大阪市）
- ⑩特定非営利活動法人 D×P（ディーピー）（次世代の育成・大阪市）

※1 地域・社会の様々な課題を解決するための事業に取り組む沿線の市民団体向けの部門です。

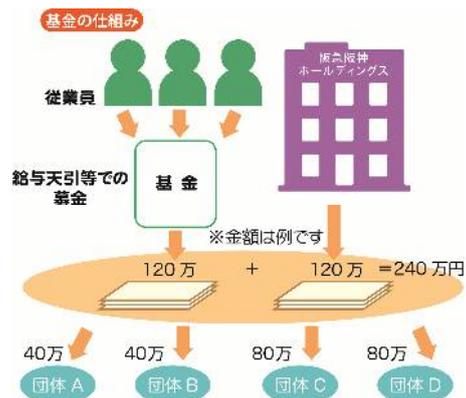
※2 社会の様々な課題を解決するための事業に取り組む沿線の市民団体で、市民団体ならではの事業モデルと安定的に事業が継続する仕組みをもち、一定の財政規模と事業の推進体制がある団体向けの部門です。

■助成金総額 600万円（内訳：従業員の募金300万円、当社からの上乗せ300万円）

■「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」市民団体助成プログラムとは

阪急阪神ホールディングスグループ従業員の募金による積立金と当社からの同額の上乗せ寄付を原資として、「地域環境づくり」または「次世代の育成」分野の活動に取り組む沿線の市民団体を助成します。プログラムの特徴は、①助成対象を阪急阪神沿線で活動する団体に特化、②助成金の使途自由、③助成金の半額がグループ従業員の募金によることの3点です。現在、約1,100名のグループ従業員が参加しています。

（ホームページ: <http://www.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/kikin.html>）



■「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」市民団体助成プログラムにこめた思い

どのまちにもボランティアで頑張っている市民団体はありますが、その多くは規模が小さく、認知度も低いことからボランティアの人材がなかなか集まりません。また、活動を応援したい気持ちを持つ人でも、知らない団体に寄付することにはためらいがあるため、市民団体の活動資金は不足しがちです。

そこでこの助成プログラムでは、市民が身近な市民団体を応援するきっかけとなるよう、グループ従業員の募金を原資の一部とした助成を行うとともに、グループが持つ交通媒体等を利用して助成対象団体の活動を沿線の市民に紹介しています。

以上

【添付資料】第6回助成対象団体の概要

【リリース配布先】青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ

このお知らせに関するお問い合わせ先

阪急阪神ホールディングス株式会社 グループ経営企画室 広報部 TEL. 06-6373-5092

## 第6回助成対象団体の概要

| 地域活性化部門（分野別50音順）   |                                   |   |
|--------------------|-----------------------------------|---|
| 地域環境づくり            |                                   |   |
| ①                  | 特定非営利活動法人<br>豊島北ビオトープクラブ<br>(豊中市) | ～市民が自然に親しめるビオトープづくり～<br>大阪国際空港周辺の緑地内に多様な生物が暮らすことのできる環境（ビオトープ）を整え、地域住民がまちの中で自然を身近に感じられる憩いの場として活用することを目指して活動している。豊中市から服部ビオパークととよなか四季彩園という2か所の公園の管理業務を協働事業として受託し、維持管理の中でビオトープの形成を行うほか、有機栽培の稲作体験、生物観察会等を開催している。             |
| ②                  | 長岡京竹あそび連絡協議会<br>(長岡京市)            | ～放置竹林問題の啓発と、竹を使ったまちおこし～<br>放置竹林整備のボランティア団体を軸に地域のボランティア団体が結集した連絡協議会で、所属団体が協力して「竹でつなぐ・つながる・まちづくり」を合言葉に、竹林整備体験や、竹遊びを通じた啓発イベント等を行う。協議会の主催する「長岡京竹あそび」は、来場者が竹遊び等を楽しめる放置竹林問題の啓発イベントだが、まちづくりや子育て支援団体の参加も受け入れることで、まちおこしにも繋げている。  |
| ③                  | ボランティアグループ「ゆりの会」<br>(西宮市)         | ～阪神淡路大震災の地すべり跡地の緑化活動～<br>阪神淡路大震災で近隣住民が犠牲になった仁川の地すべり跡地で、シバザクラ等を育てる緑化活動を行う。県の補強工事後の地すべり跡地が、雑草に覆われ荒廃することに心を痛めた有志が始めた活動で、地域の廃品回収で得た資金を元に、四季の花々等を植えて斜面を緑化している。犠牲者への追悼の意と、震災の教訓を風化させず次世代に伝えたいという思いで、地すべり跡地の景観維持に努めている。        |
| ④                  | 特定非営利活動法人<br>豊かな森川海を育てる会<br>(神戸市) | ～森・川・海・まちを一体と捉えた自然再生活動と環境教育～<br>森・川・海と人々の生活圏は相互に作用していると考え、専門家や行政機関とネットワークを築きながら、森・川・海を一体的に保全・再生する活動を行う。住吉川流域を活動地域としており、森づくりとして落葉広葉樹の植樹・育樹活動を、川づくりとして魚道の設置によるアユの生息域の拡大を、里海づくりとして海岸の清掃や地域の人々が海についての関心を高めるための生物観察会等を行っている。 |
| 次世代の育成             |                                   |   |
| ⑤                  | 大阪YWCA 点字子ども図書室<br>(吹田市)          | ～児童書の点字訳と点字児童書の全国無料貸出し～<br>読書を通じて得られる学びや感動を、視覚障がい子ども達にも届けるために活動している。点字の児童書の重要性がほとんど顧みられていなかった1981年から活動を開始し、子ども達の読みたい本・子ども達に読んで欲しい本を選び、点訳・製本し、全国へ無料で貸し出している。児童書の点訳以外に、教科書等の点訳、他の点訳グループに対する点訳講習、小学校の授業での点字紹介等も行う。         |
| 社会事業活性化部門（分野別50音順） |                                   |   |
| 地域環境づくり            |                                   |   |
| ⑥                  | 特定非営利活動法人<br>こども環境活動支援協会<br>(西宮市) | ～環境保全型農業等の持続可能な地域社会づくり～<br>子ども達が、環境に配慮して暮らせる持続可能な社会の担い手へと成長できるよう、様々な支援活動を展開している。地域の農家・企業・行政等と関係を築きながら、持続可能な地域コミュニティづくりの支援や、環境保全型農業等を通じた都市型里山づくり、啓発のための市民の農業体験を行っている。また、JICAから海外での環境教育事業を受託するなど国際的にも活躍している。              |
| 次世代の育成             |                                   |   |
| ⑦                  | 認定特定非営利活動法人<br>大阪自然史センター<br>(大阪市) | ～子どもが自然と親しむ自然科学教育の提供～<br>自然を見つめる楽しさを伝え、自然に対する理解を深めるために活動しており、子ども達が自然について楽しく学べるワークショップ等を積極的に企画・実施している。各種ワークショップの企画には、身近な自然の観察・調査研究等で培った専門的な知識や経験を活用。活動の担い手は市民だが、地域の博物館、動物園、学校等と連携し、多様な場で活動を展開している。                       |

|   |   |  |
|---|---|--|
| ⑧ | 特定非営利活動法人<br>キンダーフィルムフェスト・<br>きょうと<br>(京都市) | <b>～子どものための映画祭の開催やメディア教育～</b><br>京都の文化の一つである映画の奥深さを子ども達に伝えるため1994年から「京都国際子ども映画祭」を開催。この映画祭では、海外の子ども映画祭への出品作品等から、子ども達の視野を広げるようなものを選出・上映しており、普段目にする機会のない作品も鑑賞できる。また、子ども向けの体験プログラムも提供しており、映画祭の運営スタッフ・審査員・声優・CM制作体験がある。             |
| ⑨ | 特定非営利活動法人<br>チャイルド・リソース・センター<br>(大阪市)       | <b>～児童虐待再発防止のための家族再統合支援～</b><br>日本では虐待時に子どもを早急に保護することに追われ、虐待の再発防止に必要な親子関係の再構築の支援が不十分だと考え、その改善に尽力している。親子が安心して交流できる場と時間を作り、親子の関係性が構築されるように働きかける家族再統合プログラムを、海外の事例を参考に開発し、学識経験者や専門家と連携して提供しており、過去7年の参加者の約3割が、再度家族で暮らせるようになっている。    |
| ⑩ | 特定非営利活動法人<br>D×P (ディーピー)<br>(大阪市)           | <b>～通信制高校生の自己肯定感を育むキャリア支援～</b><br>通信制高校生が、進路が決まらないまま卒業してしまうのを防ぐために活動。活動の軸は3つあり、①社会人ボランティアとの対話を通じて大人への信頼感や自分の将来への意欲を生み出す「キャリア教育授業」、②様々な通信制高校生の横の繋がりをつくり、居場所となるコミュニティを育むための「部活動プロジェクト」、③成功体験をつくるための挑戦の場を提供する「職業体験プロジェクト」を実施している。 |

※ ( ) 内の市名は団体事務所の所在地です。